

みずほCustomer Desk Report 2022/07/14 号 (As of 2022/07/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	137.02 AUD/USD
TKY 9:00AM	136.75	1.0030	137.26	1.1881	0.6746
SYD-NY High	137.87	1.0122	138.77	1.1967	0.6803
SYD-NY Low	136.69	0.9998	137.15	1.1828	0.6726
NY 5:00 PM	137.44	1.0059	138.23	1.1895	0.6759

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,772.79	▲ 208.54	日本2年債	▲0.0800%	▲0.0100%
NASDAQ	11,247.58	▲ 17.15	日本10年債	0.2300%	▲0.0100%
S&P	3,801.78	▲ 17.02	米国2年債	3.1475%	0.0983%
日経平均	26,478.77	142.11	米国5年債	3.0270%	0.0083%
TOPIX	1,888.85	5.55	米国10年債	2.9346%	▲0.0342%
シカゴ日経先物	26,525.00	55.00	独10年債	1.1425%	0.0125%
ロンドンFT	7,156.37	▲ 53.49	英10年債	2.0585%	▲0.0020%
DAX	12,756.32	▲ 149.16	豪10年債	3.4220%	▲0.0120%
ハンセン指数	20,797.95	▲ 46.79	USDJPY 1M Vol	11.74%	▲0.41%
上海総合	3,284.29	2.83	USDJPY 3M Vol	11.64%	▲0.19%
NY金	1,735.50	10.70	USDJPY 6M Vol	11.39%	▲0.15%
WTI	96.30	0.46	USDJPY 1M 25RR	▲1.35%	Yen Call Over
CRB指数	277.94	1.92	EURJPY 3M Vol	13.47%	▲0.10%
ドルインデックス	107.96	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	13.18%	▲0.08%

東京	東京時間のドル円は136.75レベルでオープン。直後に136.70まで下落したものの、仲値にかけて買われると、137円台を回復し、一時137.25まで上昇。やや値を戻すとその後はめぼしい取引材料のない中、米国時間に米CPIの発表を控えてか動意を欠き、137円ちょうどを挟んでの値動き。結局137.08レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は137.08レベルでオープン。米CPIの発表を前に様子見ムード強く、小幅レンジ内で推移し137.06レベルにてニューヨークへ渡った。ユーロドルは1.0040レベルでオープン。1ユーロ=1ドルのバリエーションが意識される中、安値は1.0007となった。後半はポジション調整等から値を戻し1.0068レベルにてニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	今週最も注目される米経済指標である米6月CPI結果発表を控え、海外市場ではドル円は137.10付近での推移が続き137.06レベルでNYオープン。注目のCPIは前月比で1.3%増とエネルギー価格の上昇等から予想を上回る結果となり、前年比だと9.1%と高い伸びとなり、9%台を見ているエコノミストがほとんどいなかったことから9月の75bpの利上げが織り込まれる中、137.72まで急伸する。その後一旦ユーロドルが買い戻される動きを受け137.36まで反落するが、カナダ中銀が100bpと予想(75bp)以上の利上げを発表したことからCADJPYが上昇する動きを受け、ドル円は月曜に付けた高値137.75を抜け、137.87まで上伸する。しかしその後は一旦急伸した米金利が反落する展開を受けドル売りが持ち込まれ、137.10まで反落する。午後は狭いレンジでの方向感の無い推移が続き、137.44レベルでクローズした。一方、引き続き上値の重いユーロドルは、海外市場で1.0007まで下落するが、米CPI結果発表を控えた調整からやや戻し、1.0068レベルでNYオープン。CPI結果発表を目前に控え一旦1.0109まで上昇するが、強い結果を受けたドル買いについてバリエーションが意識され、0.9998をタッチする。しかし急速に買い戻しがはじり、1.0051まで戻す。その後一旦1.0010まで再び反落するがロンドンフィックスに掛けて急速に買いが強まり、1.0122まで戻す。午後は低下していた米金利が再び上昇する動きを受けたドル買いにユーロドルはじり安で推移し、1.0059レベルでクローズした。

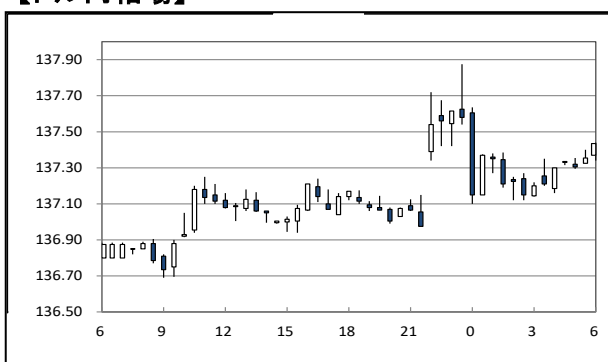
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月13日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 0.9%/1.4%	0%/-0.3%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	5月 1.4%/2.3%	0%/0.3%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.1%/7.6%	0.1%/7.6%
	15:36	中 貿易収支	6月 \$97.94b	\$76.80b
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	5月 0.8%	0.3%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	6月 1.3%/9.1%	1.1%/8.8%

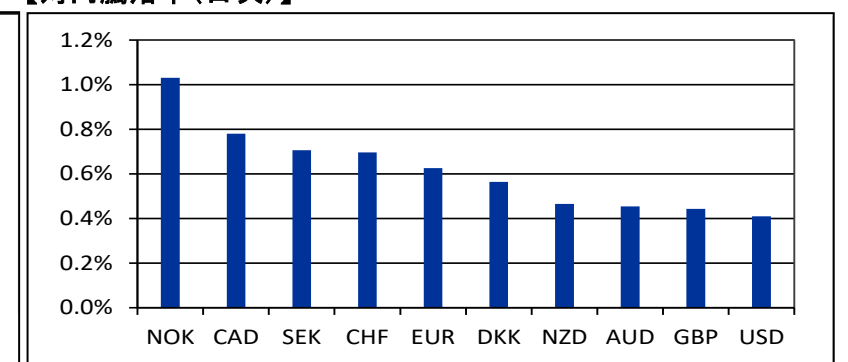
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月14日	10:30	豪 雇用者数変化	6月 30.0k	60.6k
	10:30	豪 失業率	6月 3.8%	3.9%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	5月 -	-7.2%/-2.8%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	6月 0.8%/10.7%	0.8%/10.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	9-Jul 235k	235k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.50-138.20	0.9950-1.0090	137.00-138.70

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は米国時間で137.87まで上伸する、年初来高値を更新する展開。136.75レベルでオープンし、仲値にかけてはドルが買われる動きに137円台を回復後は、欧州時間を通して137円近辺の狭いレンジで推移した。米6月CPIの結果が市場予想を上回ったことでドル買いが加速し、137.87まで急伸。その後は米景気悪化への懸念から米長期金利が低下したことを受け、ドル円も137円台前半まで下落。その後も上値重く137.44レベルでクローズした。

本日のドル円は、堅調推移を予想。昨日の米6月CPI結果を受けたドル買い優勢の流れが継続するだろう。リッチモンド連銀バーキン総裁の「FRBはインフレ抑制に焦点を当てるべき」との発言なども、市場のFRBによる7月FOMCでの大幅利上げ観測を再燃させている状況であり、ドル円には上昇圧力が強まりやすいか。本日は米6月PPIの発表もあり、米景気動向を見極めるうえでこちらの内容にも注目しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大熊・逸見